

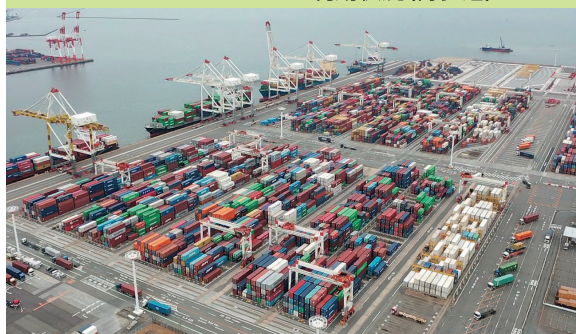
港湾空港事業

持続的な経済成長の実現

港湾の機能強化・航空ネットワークの充実

我が国の産業や国民生活に不可欠な貨物や資源を輸送する船舶の大型化に対応し、国際コンテナ定期航路網の充実に対応するため、港湾施設整備による港湾の機能強化を推進します。

コンテナターミナルの利用状況(博多港)



バイオマス発電燃料(木質ペレット)の荷役状況(荻田港)

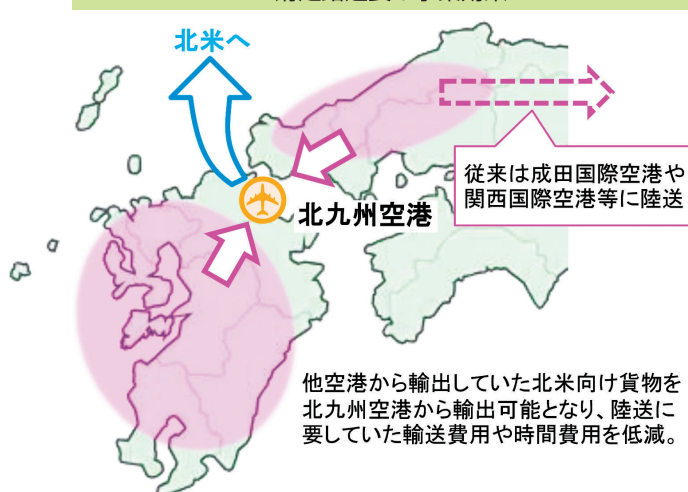


航空需要の回復及び増加を見据えた航空ネットワークの充実に対応するため、空港施設整備による空港の機能強化を推進します。

北九州空港の滑走路延長



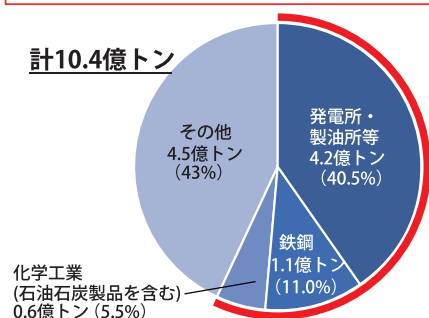
滑走路延長の事業効果



カーボンニュートラルポート(CNP)形成の推進

港湾の競争力強化と脱炭素社会の実現に貢献するため、水素・アンモニア等の受入環境の整備や、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化を図るべく、荷役機械の電動化等の取組による CNP の形成を推進します。

CO2排出量の約6割を占める産業の多くは、港湾・臨海部に立地



我が国のCO2排出量(電気・熱配分前)
(2022年度確報値、2024.04.12公表)

出典: 国立環境研究所HP資料より、港湾局作成

多くの企業が集積する港湾・臨海部(北九州港)



博多港の荷役機械(RTG)電動化



※RTG: Rubber Tired Gantry craneの略(タイヤ式門型クレーン)

国民の安全・安心の確保

耐震強化岸壁の整備

南海トラフ地震等大規模地震の発生が危惧される中、海上からの人命救助や緊急物資輸送を支えるため、海上交通ネットワーク維持に向けた耐震強化岸壁の整備を推進します。

耐震強化岸壁の整備(名瀬港)



耐震強化岸壁と通常の岸壁の比較(仙台塩釜港)



津波・高潮対策等の推進

港湾海岸の背後地には人口や物流・産業・市街地機能が高度に集積しており、津波及び高潮・高波による浸水被害を防止・軽減するため、護岸・陸閘・水門といった海岸保全施設の整備を推進します。

護岸整備状況(大分港海岸)



整備区間と未整備区間の防護状況の比較(下関港海岸)



個性を活かした地域づくりと分散型国づくり

地域の基幹産業の競争力強化のための港湾整備

2024年問題によるドライバー不足等により、今後フェリーやRORO船による海上輸送ニーズがさらに高まる見込みです。このため、安定的な物流を支える内航ROROターミナルの機能向上や、港湾物流のボトルネックの解消など、地域の基幹産業の競争力強化に向けた港湾整備を推進します。

ドライバー等の人手不足や労働規制に対応した内航ROROターミナルの整備(大分港)



港湾物流のボトルネック解消のためのふ頭間臨港道路の整備(鹿児島港)

